

九条はらまち

福島県南相馬市「はらまち九条の会」 No.231
2013(平成25)年12月13日(金)発行

■今日、1937(昭和12)年12月13日は南京大虐殺の日ですが、ほとんど報道はありません。

「リメンバー12.6」次は「特定秘密保護法」廃案の運動を!



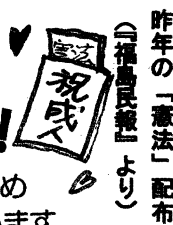
●<左>は12月6日夜、「特定秘密保護法」廃案のための東京日比谷公園大集会、そして日比谷から国会議事堂への抗議デモの写真です。神奈川県にいたので「はらまち九条の会」を勝手に代表したつもりで、この15,000人のデモに参加。自由法曹団や出版労連の後について歩きました。「デモはテロと同じ」と石破幹事長も発言しましたが、弁護士さんに守られているデモという感じで、国会前も大変な盛り上がりでした●これだけの抗議や反対の声が日本中で起こっていても、全く無視する現政権●ついに午後11時24分、「法案」は参院でも強行採決で成立●福島県選出の森雅子議員、福島県出身の佐藤正久議員が喜々として大活躍ですが、被災に苦しむ福島県民として苦々しく、空しい思いで見えています。(事務局・山崎)
▲2013年12月6日午後7時東京・日比谷公園で。参加者は本当に怒っていました。

新成人にも「憲法」の大切さ、憲法改悪の怖さを伝えよう

来年1月の南相馬市成人式、『憲法・小冊子』の配布

あなたも一緒に「憲法」を手渡しませんか!

- 「はらまち九条の会」では、毎年1月、市の成人式会場「市民会館(ゆめはっと)」前で、新成人の一人一人に「憲法・小冊子」(復刻版)を手渡しています。
- 「憲法・小冊子」は憲法全文を掲載し、1971年に旧原町市が市費で発行し全世界に配布した「復刻版」です。
- 成人式は1月12日(日)。受付開始の正午から式開会の午後1時ごろまで、手渡しを行います。
- 事務局員と一緒に配布ご希望の方は、事務局井上(TEL0244-22-7511)にお申し出下さい。



もっと福島の声を知りたい!
相双地区の現地をしっかりと見てくださーい!

▼11月24日『福島民報』朝倉悠三さんの連載より



こんなに深刻な原発事故を引き起こしても、まだ再稼働、新規建設、原発の輸出の現政権。事故から何にも学んでいません。まさに狂気です。
そして小泉元首相! どうして首相の時に「脱原発」を推進しなかったのですか。アメリカの「軛(くびき)」がなくなったからですか?

鹿島区南右田海岸にも「奇跡の一本松」が立派に生き残りました

○南相馬市鹿島区南右田地区は、大津波で全70世帯が流失し54人が犠牲になりました。海岸の数万本の松林も流されましたが、陸前高田市的一本松と違い、枝葉も青々とした「奇跡の一本松」が立派に生き残っています。○九月には行政区長五賀和雄さんを中心に「守る会」が発足し、案内の看板も建てられ、遠くから訪れる人も増えているそうです。「一本松」に見ならい、私たちが元気を出しましょう。



会員の皆様からの お手紙

○全国各地の「はらまち九条の会」会員
から、続々とお便りが届いています！

■「いつも事務局の皆様、お世話様です。昨年入会した福島市の会員ですが、現在原発の訴訟でも活動しています。毎月送られてくる会報が勉強になるので、同じ訴訟団の人たちにも、毎号をコンビニでA3の大きさにコピーして配布し、読んでもらっています。」(福島市・60代・男性)

数に物言わせてやりたい放題の現政権

■「暑い夏が終わったと思うと、冬が駆け足でやって来て、昨日(11月13日)は仙台でも初雪が舞いました。付近の山も初冠雪で白くなっています。

数に物言わせてやりたい放題、現政権には全く腹が立ちます。憲法改悪、戦争を知らない若者達が、戦場に送られることも知らず投票した結果とはいえ、残念です。自民党の内部崩壊を待つしかないのか。その意味で小泉元総理の脱原発宣言は注目したいと思います。」(仙台市・70代・男性)

小高の我が家に怖れず、田畑も荒れ放題

■「私はあの震災の前日の3月10日に「はらまち九条の会」に入会しました。しかし、原発事故のため小高区から妻と広島県に避難し、高齢の私はどうにか歩き、妻は元気にチラシまきの活動などで仲良しもふえ、こちらでも畑を借りてよくやっています。広島の友達もみな親切な人が多いです。

小高の我が家へは当分帰れる見込みがなく、解体撤去も遅れそう
で、田畑は荒れ放題です。正月は
家族で集まる予定をたてています。



いつもの会報や資料などありがとうございます。ま
ていに読んでいます。」(東広島市・80代・男性)

■「会費を送ります。大変な時代になりつつある
今の社会状況、少しでも押し戻せるよう、力を尽く
して行きたいと思います。」(福島市・50代・男性)

事務局より

会費納入ありがとうございます カンパもお待ちしています！

連日、「郵便為替」や「直接の手渡し」「郵
送」などで次々年会費が納入され、ご理解を
いただき、本当にありがとうございます。また
カンパもたくさんの方々から寄せられ、有
難く心より感謝申し上げます。事務局員一同
さらに気を引き締めています。(会計・井上)

◆これほどの国民の反対の声を無視して、1
2月6日夜、自民党は強行採決で「特定秘密保
護法」を成立させました。無知や無関心な人
々の「いいんじゃない！」という「聖なる単純さ」
の結果です。廃棄まで諦めることはできません。

＜「はらまち九条の会」事務局連絡先＞

○会長：平田慶肇 TEL0244-24-1211 ○石田賢二 TEL0244-22-4037 ○早坂吉彦 TEL0244-22-0326
○事務局長：山崎健一(神奈川県に避難中) TEL090-7527-5453 Eメール：yamazakiken1@gmail.com
○会計：井上由美 〒975-0031南相馬市原町区錦町1-43井上薬局内TEL0244-22-7511・FAX26-0892
○番場恵子 TEL0244-22-0715 ○ホームページ担当：大浦祥見 TE0244-24-0704



■「福島県選出の森雅子参議院議員
に福島県民としてやりきれない思いで
いる。本来は消費者・少子化担当相の
森議員が、なぜ特定秘密保護法案の担
当大臣なのか。しどろもどろの答弁で
目も死んでます。なぜ福島県民は原発の一番の被害者
なのに、参院選で原発推進の森議員を当選させたのか
と、他県民が揶揄する新聞投書もありました。福島県
出身の「髭の隊長」佐藤正久議員も議長のガードマン
に成り下がり情けない。原発の情報もさらに隠蔽される
法律なのに。いまだに長州(山口・安倍首相)の会津(福
島)への仕置きなのか。」(南相馬市・60代・男性)

避難先の秋田から郡山市に戻りました

■「3.11の大津波で鹿島区の自宅は流失し、私・妻
・84歳の義母は、私の故郷の秋田県に避難しておりま
した。それから2年6ヶ月、未だ収束まなぬ人災
の原発事故ですが、長男夫婦に待望の初孫誕生を機
に、郡山市に住まいを求め、家族バラバラ状態を解消
することになりました。」(郡山市・60代・男性)

「根本さんの震災体験」が石川町のミニ新聞にも掲載

■「私は仙台市民の会員ですが、福島県石川町の家
にも時折住んでいます。会報227号の「根本智夫さん
の震災体験」で、原発事故で広野町から避難の際、石
川町への感謝が述べられておりましたので、お許しも
頂かないまま、石川町のミニ新聞に送ってしまいま
した。すると早速『町民ニュース』11月22日号に掲載
され、石川町でも話題になっているそうですので、
送らせていただきます。」(仙台市・80代・女性)

■「秘密保護法・・・何たる暴挙。戦慄が走るほどの
怒りです。署名や鎌倉駅頭でのシール投票などで、多
くの人が反対しているのに。1万人が集まった21日
の日比谷全国集会にも参加しました。デモに私は行け
る限り行こうと思っています。カンパも送ります。お
元気で。」(鎌倉市鎌倉九条の会員・60代・女性)
○無断で勝手に掲載いたしました！お許ください。

「どうして福島の人はずっと声を出さないの？」

◆避難先の関西で、60回以上の講演会で被災
を訴える会員夫妻や、被災地の南相馬市の案内
に懸命に努めている会員もたくさんおられます。

私個人も11月30日は京都で、12月1日には
神戸の九条の会で、『南相馬市や福島県の震災の
窮状』をお話しました。でも、「どうして福島の人
は原発事故に怒りや抗議の声をもっと大きく
出さないの？」という意見も出て、東北人と積
極的な関西人の違いを実感してきました。(山崎)

◆今年2013年もあと数日。政治も社会もメ
チャクチャな状況ですが、「絶望の隣は希望で
す」。来年こそ、良いことが重なりますように！